

第4章

協働による取組み



市が市民（市民団体等）・事業者と協働して行った
環境への取組みの実績等を記載しています。

多摩市の環境づくりを進めていく上で、“市民、事業者、行政の協働”（みんなの協力）も重要です。そのためには、市民（子どもを含む）、事業者、行政がそれぞれの役割を認識し実践するとともに、相互のパートナーシップを築いていくことが欠かせません。

1. 協働による環境への取組み実績

令和5年度は次の120以上の団体等と協働して、環境保全・環境美化・ごみ減量活動等を実施し、延べ約7,900人の参加がありました。

実施日	取組名	参加者等	主催等	内容
4月1日～ 3月31日	アダプト制度による 公園施設等の管理	53団体 45公園	諸団体	各市民団体が公園施設等の身近な公共空間の美化及び清掃活動を行うことで、環境に対する市民意識の高揚が図られ、協働によるまちづくりを推進した。
4月1日～ 3月31日	グリーンボランティア	市と協定を結ぶ 13の市民団体 多摩中央公園等	諸団体	市とのパートナーシップのもと、公園、緑地等について自主的に維持管理を行うことで、みどりの保全、育成及び創出が図れた。
4月1日～ 3月31日	公園愛護会による 公園清掃	51団体 81公園	諸団体	地域住民・自治会・老人会等により組織された団体が、主に街区公園を対象として清掃を実施し、公園の愛護意識の向上が図れた。
4月1日～ 3月31日	鶴牧西公園 果樹の谷管理	4団体	諸団体	市民の手による果樹園の維持管理と自然を理解し親しむための活動を通して、人々のふれあいの場ができ、収穫の喜びを分かち合えた。
4月1日～ 3月31日	転入者ごみ分別 説明窓口	5,617人	※エコ・フレンドリー 多摩市	市役所1階ロビーにごみ相談窓口を設置し、転入者や来庁した市民に多摩市の分別ルールに基づくごみの出し方を説明し、ごみ減量・資源化の普及啓発を行った。
4月15日	多摩市水辺の楽校 楽校式	17人	多摩市水辺の楽校 運営協議会	平成22年3月に国土交通省に登録し、市も参画している。さまざまな観察会等を企画しながら子ども達が水辺の自然に親しむ機会と体験を増やしている。
4月23日 9月16日 11月3日	一ノ宮用水の 川の生き物調査	調査参加者 延べ41人	よみがえれ、 大栗川を楽しむ会 多摩市水辺の楽校 運営協議会	環境に配慮した一ノ宮用水路の護岸工事の効果を把握するとともに、生物多様性に関するデータを得るために、平成26年度から市民協働による生き物調査を実施している。

※…協働指定委託事業受託者

実施日	取組名	参加者等	主催等	内容
4月25日 5月23日 6月27日 7月25日 8月22日 9月26日 10月24日 11月28日 12月2日 1月23日 2月27日 3月26日	生ごみリサイクルサロン	参加延べ人数 89人	ダンボくらぶ 多摩市	ダンボールコンポスト等を使用した生ごみの自家処理・生ごみ堆肥の作り方の相談会（サロン）を行い、生ごみ処理の普及に努めている。
5月18日 5月19日※ 5月20日 5月22日 ※雨天中止	「まち美化キャンペーン～ごみゼロデー～」	250人	多摩市まち美化推進協議会 廃棄物減量等推進員 多摩市	5月30日の「ごみゼロデー」に合わせて、ごみの散乱防止・減量啓発のキャンペーンを市内4駅周辺等で実施した。平成26年度から環境施策の効果的・効率的な推進を目的に、資源循環推進課と合同で実施。
6月16日 12月5日	環境出前教室	小学校2校 6クラス	たまごみ会議 多摩市	小学校や保育園に出向き、ごみ・資源などについて授業を行う。 小学校では、小学4年生を中心に、ごみ・資源の分別やゆくえ、処理方法について知り、ごみを減らすための工夫、4Rについて考えるための授業を実施した。
6月18日	全国一斉水質調査	4人	多摩市水辺の楽校運営協議会	多摩川・大栗川・乞田川の水質を一斉に調査した。
6月24日	川の生き物調査・観察会	25人	多摩市環境行事実行委員会 多摩市水辺の楽校運営協議会	多摩川と大栗川の合流点付近で河原の植物や水生生物の観察等を行うことにより、子どもだけでなく保護者にも自然への興味や知識を深めている。
7月20日～ 9月8日	多摩市身のまわりの環境地図作品募集	応募者数 36人	多摩市身のまわりの環境地図作品展運営委員会	身のまわりの環境についてを、地図として表現することを通じて、環境への興味を深めるとともに、疑問に感じたことなどを調査し、それを地図にするという工夫・学習の楽しさや大変さを体験する。
8月27日	乞田川の恵み（生きもの調査・観察会）	35人	多摩市水辺の楽校運営協議会	乞田川でガサガサを行う。
9月30日	川の生き物調査・観察会	26人	多摩市水辺の楽校運営協議会	多摩川と大栗川の合流点付近で河原の植物や水生生物の観察等を行うことにより、子どもだけでなく保護者にも自然への興味や知識を深めている。

実施日	取組名	参加者等	主催等	内容
10月14日 11月11日 12月9日	環境学習セミナー	延べ32人	多摩市民環境会議 多摩市	環境に興味のある方、これから環境活動をしてみたい方などを対象に、フィールドワークも取り入れて開催する。
10月26日 10月27日 10月28日 10月30日	「まち美化キャンペーン ～市民清掃デー～」	291人	多摩市まち美化 推進協議会 多摩市	11月の「市民清掃デー」の時期近くに合わせて、歩行喫煙をはじめ、吸い殻・空き缶等のポイ捨て行為によるまちの環境悪化を防止するため、多摩市まち美化推進協議会や市民・市民団体・事業者・学校等の協力により実施する。具体的には市内4駅周辺での清掃活動や、「多摩市まちの環境美化条例」の周知を行う。また、健康推進課とも協働し、多摩市受動喫煙防止の観点から喫煙マナーの向上のための周知・啓発活動も実施する。
10月29日 12月10日 12月16日 1月6日 1月13日 1月20日	リユース食器 貸出事業	利用団体数 8団体	※エコ・フレンドリー 多摩市	例年、イベントやお祭りなどで大量に出る使い捨て容器や割りばしの代わりに、繰り返し使えるリユース食器を無料貸出しすることでごみ減量を推進している。食器の洗浄・殺菌・貸出準備業務や普及啓発を行い、市民のごみ減量意識の向上に努めている。
作品展 オンライン 12月1日～ 12月3日 表彰式 12月3日	多摩市身のまわりの環境 地図作品展・表彰式	作品展来場者数 オンライン不明 106人 表彰式30人 (表彰者14人、表彰者親族など13人、運営委員会副委員長、市長、環境部長)(見学者を含めると45人程度)	多摩市身のまわりの 環境地図作品展 運営委員会 多摩市	優秀賞受賞作品及び奨励賞受賞作品を表彰するとともに全作品を多摩市公式ホームページ(オンライン)上で展示する。
12月2日 12月3日	多摩市 消費生活フォーラム&エコ・フェスタ2023	1,170人	多摩市消費生活フォー ラム&エコ・フェスタ 2023実行委員会	多摩市の消費者団体、環境団体、行政、企業などが集まり、暮らしや環境に関する様々な問題について幅広い視点から情報を発信し、考えるイベントである。
12月3日	まち美化貢献者・団体 表彰式	12人	多摩市まち美化 推進協議会 多摩市	まち美化に貢献した団体を表彰した。
2月3日	冬鳥観察会	27人	多摩市水辺の楽校 運営協議会	多摩川に生息する冬鳥の観察会を行う。
毎月 第1日曜日	大栗川清掃活動	延べ143名	【主催】 よみがえれ、 大栗川を楽しむ会 【協力】 多摩市水辺の楽校 運営協議会	実際に大栗川の中に入って、清掃活動を実施している。清掃後はごみを分類し、データ分析も行っている。

2. 人づくりに向けて

(1) 環境教育の充実

環境を大切にする「心」を育てるためには、子どもの頃から自然や生き物とふれあい、環境を大切にする心を育てていくことが重要です。

多摩市では、持続可能な社会の担い手を育成するため、「2050年の大人づくり」をキャッチフレーズとして、市内の全小・中学校でE S D（Education for Sustainable Development）の取組みを進めています。環境教育はその重要な一躍を担っています。



市内の全ての小・中学校で社会科、理科、家庭科、生活科などの教科学習、あるいは、総合的な学習の時間、「特別な教科 道徳」や特別活動などで、水、土、空気、騒音、ごみ、リサイクル、草花栽培、樹木の保全活動などを取り上げています。

(2) 環境学習の拡充

子どもから大人まで生涯を通じて環境にやさしい行動をする人を育てるため、地域ぐるみで環境について学び、実際に体験するための場や機会を提供しています。

市内では、グリーンライブセンターやコミュニティセンター、公民館等で、環境に関する学習会等が市民団体などの主催により開催されています。また、市主催による施設等見学会、環境学習会、自然観察会や農業体験等の体験学習等多彩な取組みも行っています。



さらに、歴史・文化の保全・継承に関しても同様な取組みを進めています。

～多摩市の環境保全・啓発を積極的に進めています！！～

多摩市民環境会議

自然環境

生活環境

地球環境

環境情報

代表者	会長 清水 武志朗	発足年月	平成13年5月		
構成・組織 *分科会等	市民等による構成。みずとみどりの部会、環境美化・資源化部会の2部会あり。				
	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
会員数	36人	36人	31人	28人	26人
事業実施回数	20回	2回	17回	17回	17回

多摩市民環境会議は、平成13年5月に、多摩市の環境基本計画を市民の立場から実践するためにできた団体です。

活動としては、多摩市の環境市民団体のネットワークのコーディネーターとしての役割を担うことを目標としており、みずとみどりの部会、環境美化・資源化部会に分かれて活動をしています。

会の主要な事業としては「多摩市消費生活フォーラム&エコ・フェスタ」と3回シリーズの「環境学習セミナー」の開催があり、里山の保全では、さえずりの森や連光寺湿地の保全支援を行っています。

環境市民団体や企業・学校の環境活動のネットワーク化に貢献したい！

市民活動の担い手づくり！環境学習セミナー（3回シリーズ）を開催



座学を学ぶ受講者

例年9月から12月までの間、多摩市との共催で環境学習セミナーを開催しています。

毎年テーマを決めて、そのテーマに沿って座学とフィールドワーク等の体験を行います。

この座学やフィールドワーク等の体験を通して受講生に貴重な多摩市の環境を守っていくことの大切さを知ってもらうことを目的としています。

令和5年度は、テーマを「TAMAサステナブル・アワード受賞団体に聞く」として開催し、受講者は環境について座学と体験を通して学び、みどりあふれる多摩市の環境を守っていくために大変意義のあるセミナーとなりました。

多摩市消費生活フォーラム&エコ・フェスタ合同開催2023

令和5年12月2日・3日に「多摩市消費生活フォーラム&エコ・フェスタ合同開催2023」をベルブ永山のギャラリー・講座室・視聴覚室・集会室・はらっぱ・永山北公園で開催しました。

昨年同様、「消費生活フォーラム」と「エコ・フェスタ」を合同開催という形で実施し、内容は、市内で活動している消費者団体・環境団体・事業者・学校などによる展示、工作、発表などとなっています。

このイベントは、環境について市民の皆様の理解を深めていただくことはもちろんですが、行政と環境市民団体・関連企業・学校とを結び大きなネットワークを築くことも目的としています。



会場の様子

月に一度の定期清掃活動



多摩センター地区での清掃活動

公共の場所の清掃活動にも力をいれており、概ね月に1回、清掃活動を実施しました。清掃場所は、多摩センター地区・永山地区の歩道などが中心です。

この清掃活動は、一般市民の方の参加も呼びかけており、平成25年度からは「たま広報」や「多摩市公式ホームページ」により参加者を募集しています。

今後の活動に向けて

今後の活動に向けての課題は、環境市民団体などのネットワーク化を進めて行くことだと考えており、そのために多摩市民環境会議がそのコーディネーター役を担っていきたいと思っています。

具体的には、平成27年度から参加団体が企画段階から参加できる実行委員会形式に変更した「エコ・フェスタ」を、今後も実行委員会形式により実施し、環境市民団体などがネットワークを築きやすいような環境を提供していくつもりです。

～自然環境に親しむ機会を通じて環境への理解を深めるイベントを実施しています！！

多摩市環境行事实行委員会

自然環境

生活環境

地球環境

環境情報

代表者	会長 鈴木 絹子	発足年月	平成15年4月		
構成・組織 *分科会等	市民等による構成。*分科会なし				
	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
会員数	7人	7人	7人	7人	7人
事業実施回数	2回	0回	0回	0回	1回

多摩市環境行事实行委員会は、多摩市内で環境活動に取り組んでいるさまざまな団体や個人の共同の集まりで、平成6年に活動を開始し、環境行事を原則として年に2回、春は「川の生き物調査・観察会」を、秋は「環境ウォッチング」を、小・中学生の子どもや親などを対象にして行っています。

そして、この年2回の行事を通して、子どもたちが自然に親しみ、環境に興味を持ってもらうことを目的としています。



川の生き物の調査・観察会の様子（令和5年度）

自然と触れ合う機会を通しての環境啓発活動

春は川に入って魚のガサガサ体験！ 川の生き物調査・観察会の実施



川の生き物の調査・観察会の様子（令和5年度）

例年6月に、多摩川と大栗川の合流点付近で、水生生物などの調査と観察を行う「川の生き物調査・観察会」を実施しています。この調査・観察会では、河原の植物について実物を見ながらの解説があった後、川に入りガサガサにより水生生物を採っています。

近年は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により実施できない時期が続いていましたが、令和5年度は、久しぶりに実施し、大人14人、子ども11人が参加しました。

秋は自然の中で農作業体験とクラフト工作！ 環境ウォッチングの開催

例年 10 月に、都立桜ヶ丘公園に隣接する田んぼと大谷戸公園で、環境ウォッチングを実施しています。

午前は田んぼに行き、稲の脱穀・もみすりの体験を行い、昼食はみんなで芋煮やその場で炊いた古代米を食べ、午後は大谷戸公園でクラフト作り（小枝・どんぐり等による工作等）を行います。

自然のなかで、手や足を動かして過ごした一日は、子どもたちにとっては環境について考える良いきっかけとなります。

令和5年度については、中止となりました。



クラフト工作の様子（令和元年度）

今後の活動に向けて

この会の今後の活動に向けての最大の課題は、多くの会員が高齢化していることと、新規会員が増えていないということです。そのため、会をこれから継続的に発展させて行くためには、他の環境市民団体と連携をしながら、若い方を中心とした新規会員が増加するよう、イベント時にボランティアスタッフの参加を呼びかけるなど、さまざまな工夫をしていきたいと考えています。



クラフト工作の様子（令和元年度）

～自然のすばらしさを体験できるようなイベントを数多く企画しています！！～

多摩市水辺の楽校運営協議会

自然環境

生活環境

地球環境

環境情報

代表者	会長 西 厚	発足年月	平成22年4月		
構成・組織 *分科会等	市民等、多摩市教育委員会、多摩市、国土交通省関東地方整備局京浜河川事務所により構成 *分科会なし				
	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
会員数	35人	35人	35人	35人	35人
事業実施回数	9回	1回	15回	16回	21回

多摩市水辺の楽校運営協議会は、平成21年4月に発足した「多摩市子どもの水辺協議会」を前身として、平成22年4月に発足した、市民・多摩市（環境政策課）・多摩市教育委員会・国（京浜河川事務所）が構成員となっている団体です。

この多摩市水辺の楽校運営協議会は、多摩川の源流から下流まで、流域の多数ある水辺の楽校の一翼を担っており、イベント年間計画に基づいて、自然の仕組み・大切さ、さらに身近な生きものの息吹を五感で感じながら自然のすばらしさを体験できるようなイベントを数多く計画・実施しています。



乞田川の恵み（生き物調査・観察会）でのガサガサ（令和5年度）

川の生き物調査・観察会の実施



川の生き物の調査・観察会の様子（令和5年度）

多摩川と大栗川の合流点付近で、水生生物などの調査と観察を行う「川の生き物調査・観察会」を実施しています。この調査・観察会では、河原の植物について実物を見ながらの解説があった後、川に入りガサガサにより水生生物を採っています。

近年は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により実施できない時期が続いていましたが、令和5年度は、久しぶりに実施し、子どもたちが自然に親しむ機会を創ることができました。

多摩川源流体験サマーキャンプ



例年7月下旬に山梨県小菅村に2泊3日で多摩川源流体験サマーキャンプを実施しています。1日目は溪流登りを行い、2日目は水干と呼ばれる多摩川の始まりの一滴を見るための笠取山に登る体験を行います。

この体験活動を通して、子どもたちは自然に十分親しむことができ、水辺の環境についても理解を深めることができます。

令和5年度については、会員の高齢化等により事業実施が困難となったため中止となりました。

山梨県小菅村「寺小屋自然塾」前で子どもたちと記念撮影（令和元年度）

乞田川の恵み（乞田川生きもの調査・観察会）

例年8月に、乞田川の恵み（乞田川生き物観察会）を実施しています。

まず川に入る前に、子どもたちに、川の状況（水温・PH・COD・DO）などについて、分かりやすい説明をし、講師からは水生生物の採り方の指導をしていただきます。

その後、乞田川に実際に入ってガサガサをして水生生物を採り、採った後には講師に楽しい解説をしていただき、生き物はまた川に戻します。

乞田川には魚なんていないと思っている参加者も、実際には魚などがたくさんいることが分かり貴重な体験となります。

令和5年度については、4年ぶりの開催となりました。



水生生物の解説の様子（令和5年度）

今後の活動に向けて

この協議会の課題は、市民の水辺環境への関心の高さから行事の参加者が多いものの、新規会員がなかなか増えないことです。そのため、今後は他環境市民団体と連携を図りながら、若い方を中心とした新規会員の増加策を考えることが大切だと考えています。また、令和3年度から協力事業として参加している大栗川清掃活動にも引き続き、積極的に関わっていくつもりです。

～地域での清掃活動などの「まちの環境美化」を推進するため活動をしています～

多摩市まち美化推進協議会

自然環境

生活環境

地球環境

環境情報

代表者	会長 小山 喜八	発足年月	平成24年10月（前進の多摩市街美化推進協議会は平成21年7月発足）		
構成・組織 *分科会等	まちの環境美化活動を行っている企業関係者、まちの環境美化を行っている団体構成員、多摩市民環境会議会員、多摩市自治連合会会員、多摩市立小学校PTA連絡協議会会員、多摩市立中学校PTA連合会会員、廃棄物減量等推進員、環境部長、その他市長が認めた者 *分科会なし				
	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
会員数	13人	13人	13人	13人	13人
事業実施回数	9回	1回	5回	9回	9回

多摩市では平成24年10月1日より「多摩市まちの環境美化条例」を施行し、市内の公共の場所における吸い殻・空き缶などのごみのポイ捨て等を禁止することをはじめ、市内駅周辺を「まち美化重点区域」に指定し、路上喫煙を禁止しています（令和元年10月からは受動喫煙防止条例に移行して規制）。この条例を元に発足したのが「多摩市まち美化推進協議会」です。

多摩市まち美化推進協議会では、歩行喫煙等たばこの喫煙マナーをはじめ、ごみの散乱や落書きのない安全で快適な美しいまちを目指すため、まち美化キャンペーンの計画・実施など、誰もが住みやすいまちづくりのための取組みを協議しています。



まち美化キャンペーンの様子 令和5年（春・唐木田駅）

まちの清掃と環境美化啓発活動

市民一人ひとりがまち美化メンバー！ 春と秋のまち美化キャンペーン

毎年5月30日は「環境美化の日“ごみゼロデー”」として、その前後の期間において、自治会・管理組合等により地域清掃が行われています。まち美化推進協議会でも、その一環として、歩行喫煙やごみのポイ捨て等のまちの環境美化の推進や、ごみ減量・資源化の推進を呼びかけるため市民・市役所・事業所の方々と協働して、キャンペーンを実施しています。

令和5年度春のまち美化キャンペーンは集合写真を撮らない、啓発ティッシュの配布を行わない等、新型コロナウイルス感染症拡大の対策をしながら行いました。



まち美化キャンペーンの様子 令和5年（春・聖蹟桜ヶ丘駅）

少しでもまちの環境美化を前進するために！学校・事業者と協働してPR

まち美化キャンペーンは春だけではありません。市民の美化意識の啓発を図ることを目的として、多摩市では秋にもまち美化キャンペーンを実施しています。

秋のキャンペーンでは健康推進課と協働し、受動喫煙防止対策の一環として、受動喫煙に関する啓発活動も併せて実施し、総合的に「美しいまち 多摩」の実現を目指しています。

また、令和5年度のまち美化キャンペーンでは、令和4年度に引き続き、乞田川沿いを多摩センター駅付近から永山橋まで歩きながら清掃を行いました。



まち美化キャンペーンの様子 令和5年（春・乞田川）

地域イベントでまち美化をPR！

多摩市消費生活フォーラム&エコ・フェスタ合同開催2023



まち美化貢献者・団体表彰式にて記念撮影

12月2日・3日に開催された「多摩市消費生活フォーラム&エコ・フェスタ合同開催2023」に出展し市民への環境美化の啓発を行いました。

具体的には「多摩市まちの環境美化条例」及び「多摩市まち美化推進協議会」のPRを行いました。

また、12月3日にまち美化貢献者・団体表彰式を行い、6団体と1名を表彰しました。

今後の活動に向けて

春・秋のまち美化キャンペーンの実施や、イベントにおける啓発活動により、多摩市まちの環境美化条例の周知を図っていますが、まだまだ市民の皆さんに浸透していないことが、大きな課題であると認識しています。そうした課題の対策として、条例の啓発方法を工夫し、市内全域での地域清掃の更なる活性化を推進していきたいと考えています。

また、まちの環境美化条例に規定されているもの以外についても、順次取り組みの検討をしていきます。

～多摩市内の公園緑地の雑木林の保全活動を行っています～

多摩グリーンボランティア森木会

自然環境

生活環境

地球環境

環境情報

代表者	会長 田村 薫	発足年月	平成13年10月
構成・組織 *分科会等	多摩市グリーンボランティア講座の講師・修了者、多摩市内の公園緑地等でグリーンボランティア活動を行っている13団体		

	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
会員数	245人	243人	241人	241人	229人
事業実施回数	40回	22回	47回	51回	43回

当該地で活動するグリーンボランティア、多摩市公園緑地課と協働して雑木林の保安全管理方法を学ぶグリーンボランティア講座初級・中級をエコプラザ多摩及び市内・市外の公園緑地の雑木林等をフィールドとして講座を実施しました。

団体会員は、多摩中央公園班、一本杉公園みどりの会、なな山緑地の会、よこやまの道班、永山駅前雑木林保全育成の会、フレンドツリーサポーターズ（活動場所：ハヶ岳）、亀ヶ谷緑地班、どんぐり山を守る会、からきだの道の会、豊ヶ丘小学校林活用・再生プロジェクト委員会（活動場所：豊ヶ丘小学校）、和田緑地の会、鶴牧西みどりの会、豊ヶ丘の杜保全の会の13団体から構成され市内の公園緑地等の雑木林保全活動を継続しています。



グリーンボランティア講座初級
第4回 雑木林を知る

グリーンボランティア活動

みどりの保全活動の仲間づくり 多摩市グリーンボランティア講座 初級・中級



グリーンボランティア講座中級
第1回刈払い機実習

第21期となる初級講座は、第20期と同様な形で、引き続き実施した。受講者は26名と昨年に比べ増加し、修了者も24名と高い修了率になった。今後も安定的に受講者数を確保していきたい。

第19期となる中級講座についても引き続き新型コロナウイルス感染予防に留意しつつ、新規受講者5名、補講受講者4名、合計9名で開催され、7名の方が修了されました。

【参考】多摩市グリーンボランティア初級・中級講座の参加者実績（過去5年間の推移）

（単位：名）

	R元年度		R2年度		R3年度		R4年度		R5年度	
	受講者	修了者	受講者	修了者	受講者	修了者	受講者	修了者	受講者	修了者
初級講座	22	16	27	—	—	18	18	17	26	24
中級講座	19	12	9	8	7	6	11	4	9	7

※「初級講座」R2年度とR3年度は新型コロナの影響で2ケ年にまたがって実施した。

雑木林の恵みや楽しさを学び「みどり」への理解を深める 講座・イベント・講演会

グリーンボランティア連絡会が主催する講座・イベント・講演会は、グリーンライブセンターの改修工事に伴う一時閉館により、グリーンライブセンターでのイベント等が開催できないなかでも、市民に対しみどりに対する理解を深めるため、他の公共施設を活用し可能な限り活動を充実させることとしました。

- ① 観察会 タケノコと遊ぼう！、多摩の雑木林を歩く
- ② 工作 緑の探検隊（小学生向け）、多摩の竹で大人のクラフト、多摩のめかい講座、クリスマスリース講座及び材料配布会

グリーンボランティア活動安全対策、技能向上のため、内部向けに次の研修、講習会を行いました。

- ③ 上級救命再講習、技術講習会（剪定補講）、合同研修会



多摩のめかいづくり



朴葉講座



剪定補講講座

持続するみどりの保全活動へ 構成団体の活動状況

13の構成団体は、公園緑地等の雑木林で工夫を凝らして保全活動を継続しました。その結果、令和5年度は、延べ301日、2,346名が活動を行いました。

また、活動場所の状況に応じて市内の小学校・幼稚園・保育園などの環境教育の支援を行いました。



なな山緑地の会

今後の活動に向けて

多摩市の魅力である「みどり」を維持・継続していく市民活動は、ひとつの無形財産財です。これまでこれを可能としてきた一つの要素としてグリーンボランティア活動があります。実技だけでなく、里山の自然の在り方、その保全を含めた講座内容は「みどり」全体の理解を深めることにもつながっています。基本となる活動指針は、安全に楽しく活動することであることですが、そのことをさらに多くの担い手によって魅力を知ってもらうとともに、地球環境の保全にも貢献していることを実感できるよう、活動をアピールしつつ、学校をはじめ様々な団体との連携も進めていきます。

～私たちが安全で安心して暮らしていける持続可能な社会を目指して～

エコ・フレンドリー

自然環境

生活環境

地球環境

環境情報

代表者	代表 平野 紀美子	発足年月	平成18年12月
構成・組織	事務局（代表、会計）役員で役員会を開き本会の運営にあたる。		
*分科会等	年1回総会を開き、活動報告、活動計画、決算報告、予算計画、役員選出等を行う。		

	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
会員数	25人	25人	25人	24人	23人
事業実施回数	3事業 307回 その他研修等 7回	2事業 255回 その他研修等 0回	2事業 290回 その他研修等 2回	2事業 291回 その他研修等 7回	3事業 302回 その他研修等 6回

市役所本庁舎1階のロビーで、転入者や来庁者へのごみ・資源の分別説明や相談業務を行っています。また、地域のイベントやお祭り等で、使い捨て容器の代わりに繰り返し使うことのできる「リユース食器」の貸出・洗浄等の管理業務をしています。

平成25年からは、食品スクリーニング検査業務も実施するようになりました。これらの業務を通じて、私たちが安全で安心して暮らしていける持続可能な社会を目指しています。



ごみ処理関連施設見学会の様子

多摩市のごみ減量・資源化の推進に向けて

転入者ごみ分別説明業務



窓口の様子

平成19年2月から実施しています。以前は、市役所で転入された方は、市民課で分別ガイドと収集カレンダーをお渡しするだけでしたが、本業務の窓口を市役所本庁舎1階ロビーに設置以降は、ガイド等をお渡しするとともに分別方法や排出日の案内をしています。また、来庁者のごみ相談にも対応することで市民サービスの向上につながっています。

定例的に研修会を開催するなど、メンバー各人がエコ・コンシェルジュを目指して、ごみ・資源に関する知識を高めています。

リユース食器貸出管理業務

地域のお祭りやイベントでは、割り箸や使い捨て容器が多く出ます。これらのごみを減らすとともに市民のごみ減量意識の向上を目的に、平成 17 年 7 月から市で実施していたリユース食器の無料貸出事業の管理業務を市民協働事業として、21 年 2 月から受託しています。

受託から 9 年、PR の甲斐あって、多くの市民・市民団体にも利用の浸透が見られます。例年 9 月下旬に実施される永山フェスティバルでは、飲食模擬店の多くが市のリユース食器を使用しており、ごみ減量はもとより市民のごみ減量意識向上にもつながっています。

ごみ減量のためには、ごみを出さない工夫や繰り返し使う取組みが重要であり、事業の果たす役割は大きいものがあります。

令和 4 年度はコロナウイルス感染症の拡大に伴い、リユース食器の貸出を中止していたが、令和 5 年度より再開しました。



リユース食器



食器洗浄の様子

市民への食の安心に向けて

食品スクリーニング検査業務

東日本大震災に伴う原子力発電所の事故は、私たちの食の安全にも影響を及ぼし、国や東京都では農産物や給食等について放射性物質の検査を実施してきました。しかしながら、依然として市民の間では食に対する不安の声が残っており、今後も引き続き、放射線の影響を把握していくことが必要であると考えています。そこで、私たちは、平成 25 年 9 月より市と協力して市民のみなさんからの依頼による食品の放射性物質検査を開始しました。

令和 5 年度は、48 件の食品を検査しましたが、いずれも食品衛生法の基準以下でした。



検査機器 AT1320C

今後の活動に向けて

【団体代表コメント】

エコ・フレンドリーは、「転入者ごみ分別説明業務」・「リユース食器貸出管理業務」・「食品スクリーニング検査業務」の 3 つの業務を市との協働事業として受託し、活動しております。

協働事業の担い手として、市民ならではの視点と発想を取り入れ、行政とも十分に話し合いながら事業を進めてまいりました。

また、当団体は、「ごみ処理関連施設」などの見学や、窓口業務に役立てるためにコミュニケーション研修などを積極的に実施し、会員一人ひとりのスキルの向上に努めております。

これからも会員のスキル向上に努めるとともに、行政との連携を深めながら協働事業の質を高めて行けたらよいと考えております。

4. 環境情報の収集・公開体制の確立

より良い環境を創っていくためには、環境に関する様々な情報が、あらゆる人に的確に伝わることが重要です。そのため、多摩市公式ホームページを一層活用するとともに、様々な場所や方法等を用いて、より広く、より多くの環境に関する情報を提供していきます。

市の環境に関する主な情報は、多摩市公式ホームページ（<http://www.city.tama.lg.jp/>）に掲載されています。

【行政計画等】

多摩しみどりと環境基本計画	多摩しみどりの基本計画
多摩市地球温暖化対策実行計画	多摩市一般廃棄物処理基本計画
多摩市生物多様性ガイドライン	多摩しみどりのルネッサンスへの取り組み

【議事録・報告書等】

多摩しみどりと環境審議会議事録	多摩市廃棄物減量等推進審議会議事録
多摩市動植物調査	多摩市内河川の生き物調査記録
大気環境等調査業務委託報告	自動車騒音の面的評価報告書
交通量等調査業務委託報告書	河川等調査業務委託報告書

また、市民活動支援施設として、多摩ボランティア・市民活動支援センター（通称：多摩ボラセン）が、平成 24 年 11 月に関戸のヴィータ・コミュニェ内にオープンしました。

多摩ボランティア・市民活動支援センターは、多様な市民活動の情報収集・発信基地としての機能を持ち、コーディネーターが常駐し、様々な相談に応じるほか、団体の打合せや市民活動に関する相談などに使える打ち合わせコーナーや、団体活動情報を宣伝できる展示コーナーを設けています。



多摩市市民活動情報検索サイト（<https://www.tama-shimin-katsudo.com/>）に登録することにより団体の活動内容等の情報を発信できます。現在「環境・みどり」のカテゴリーに登録している団体は 32 団体（令和 6 年 3 月現在）あります。

印刷物番号

6 - 4 1

令和5年度 多摩市の環境

～多摩市みどりと環境基本計画年次報告書～

令和7年3月発行

編集・発行 東京都多摩市環境部環境政策課
〒206-8666
東京都多摩市関戸六丁目12番地1
TEL042(338)6831
FAX042(338)6857

頒布価格 400円

